

教 科	農業科	単位数	2 単位	学科・学年・コース	環境科学科・3年・森林コース
使用教科書	森林科学	実教7農業308	副教材等	自作プリント	

1 学習の到達目標

森林の育成、保全と利用に必要な知識と技術を習得させ、森林生態系と林木の生育特性を理解させるとともに、森林を総合的に利用する能力と態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	使用教科書項目	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価方法
4 ～ 6 月	山地の保 全	1 治山治水	<ul style="list-style-type: none"> 健全な森林を育成するための治山の重要性を学びます。 山崩れや地滑りの特徴、違いがわかる。 水の循環の過程が理解できる。 溪流工事の目的を理解し、横工、縦工の種類がわかる。 山腹工事の目的を理解し、山腹基礎工と植生導入工の種類がわかる。 地滑り防止工事に関わる抑止工と抑制工がわかる。 	ノート 実習観察 レポート テスト 他
		2 林道と作業道	<ul style="list-style-type: none"> 林道の多様な役割について学びます。 林道計画と設計と基礎的な図面が描ける。 林道の施工と保守管理について学びます。 	
10 ～ 12 月	木材の生 産	1 林木の伐採	<ul style="list-style-type: none"> 高性能林業機械の利用と安全確保について学びます。 	
		2 造材と集材	<ul style="list-style-type: none"> 演習林で伐採方法や造材方法を体験的に学びます。 	
1 ～ 3 月		3 木材の運搬	<ul style="list-style-type: none"> 集材や運材、貯木について効率的な運搬方法を学びます。 	

3 評価の観点・方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	関心・意欲の程度を出席状況、授業姿勢、提出物の状況から評価します。
思考・判断・表現	森林実態の把握状況や実験・調査結果の検証力の程度をレポートやノートによって評価します。
技能	観察・調査技術の要領や実験データの検査結果の表現法の体得状況をレポートによって評価します。
知識・理解	重要項目や調査・実験方法の基本事項の理解度を考査などによって評価します。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・授業ノート
- ・実験実習レポート
- ・観察記録
- ・ノートやファイル
- ・課題レポート

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

4 特に強調しておきたい点（留意すべき点・学ぶことによって得られること）

- ・実習では常に「安全」に留意し、怪我・災害の防止に努めること。
- ・近くの森林にも積極的に出かけ、常に自然に親しんで観察する姿勢を持てること。
- ・森林保全や木材需要についての社会的な出来事にも関心を持てること。
- ・観察記録や実験実習のレポートを作成する力を身に付け、期日までに提出すること。